

病院 担当薬剤師 侍史(御担当者 様)

下記患者様の貴院への転院にあたり、簡単ではございますが薬剤情報を提供させていただきます。

薬剤情報提供書

フリガナ 患者氏名	様	当院 ID:	性別	生年月日	年齢
当院入院時の薬歴・持参薬確認内容			時点の投薬内容		
<p>薬歴・持参薬確認日:</p> <p>注射の定期薬等も確認出来れば記載(ブリア、リウマチ等の生物学的製剤なども)。</p>			<p>【内服薬】</p> <p>【外用薬】</p> <p>【屯用薬】(○/○時点の使用状況) ※可能であれば薬袋から使用状況も確認(未使用、連日使用中、○/○最終 等) ※未使用のものや、かなり以前が最終使用歴のものは省略していただいても構わないと思われま(→その時は【その他準備している屯用薬もありますが、直近は未使用です】等を文言として入れてください)。</p> <p>【注射薬】</p> <p>【血糖指示】</p> <p>【継続中の持参薬】</p>		
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持参薬の使用;未使用、一部使用、すべて使用(使用内容は上記右欄へも記載する) ・薬剤アレルギー/副作用歴;入院時の確認内容、入院中に発生したもの ・薬剤管理;自己/看護師管理、自宅での管理状況 ・投薬上の工夫等;経鼻胃管チューブより投薬、とろみ水で内服、特になし ・抗菌薬の使用歴;特に入院時の直近3ヶ月。感染症制御システムより作成すると便利 ・主な使用薬の開始/変更;特に直近1ヶ月の使用薬剤について記載。その他、特筆すべき薬剤があれば記載(変更理由も分かれば記載)。 各プロブレム(疼痛、血圧、せん妄、てんかん等)の薬剤の推移等記載 (ポイントは各薬剤の増量・減量傾向、変更 などー安定しているか、悪化が良化か分かる) プロブレム①; プロブレム②; ※必要により追加/削除してください。 ・薬剤に関連する検査値; 【B型肝炎ウイルス検査結果】;HBsAg()、HBsAb()、HBcAb() ・患者本人の投薬に関する理解度; 					
<p>〒650-0047 神戸市中央区港島南町 2-1-1</p> <p>神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 TEL(078)302-4321 (代表) FAX(078)302-5534 (薬剤部直通) 薬剤師 <u> @@SYUSRNAME@@ </u></p> <p>ご不明な点がございましたら、上記担当薬剤師までお問い合わせ下さい。</p>					

転院先に薬物療法をつなぐ (施設間 薬剤情報提供書)

当院では主科・併科
それぞれに処方

処方全体の像を
事前に提供する
唯一の情報源

- ① 転院調整中
- ② 転院時
 - ・ 診療情報提供書
 - ・ 看護サマリ
 と共に送付

薬剤情報提供書

入院時の薬部・持参薬部内容

05/ 持参の投薬内容

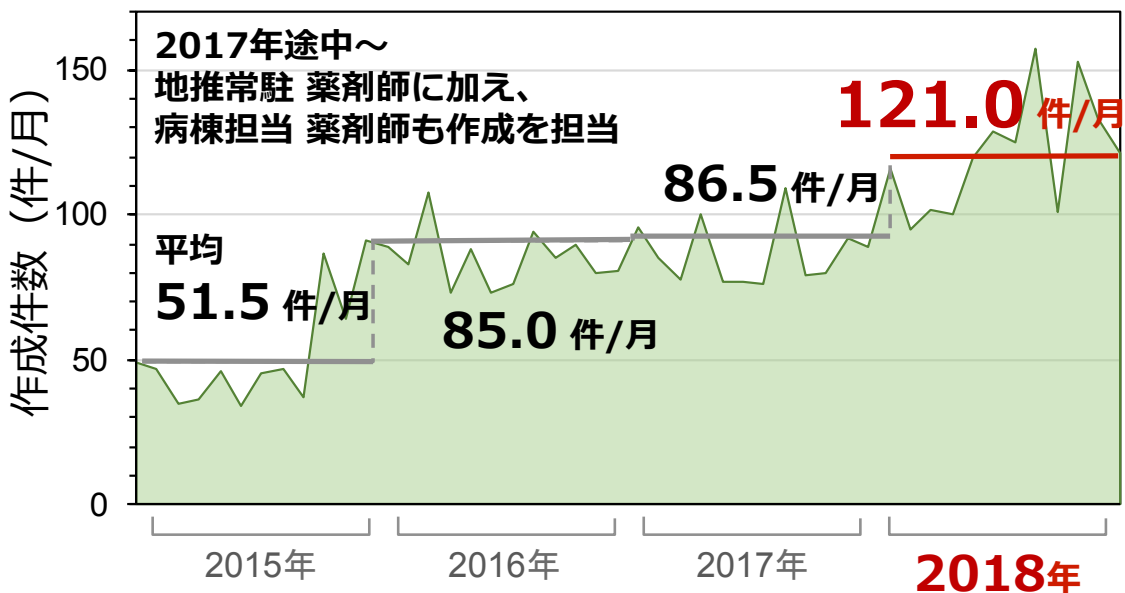
入院時の常用薬

副作用歴
一酸化等
主な薬の変化

現在の処方
主科
併科
インスリン等

副作用歴
一酸化等
主な薬の変化

施設間 薬剤情報提供書 作成件数の推移



平成 30 年度 薬局ビジョン推進事業について

「平成 30 年度 患者のための薬局ビジョン事業」について、兵庫県においては薬剤師会・病院薬剤師会連携のもと下記の事業を行う。

事業内容 1

患者の入退院時における、薬局薬剤師と病院薬剤師間での情報提供の有無ならびに退院時共同カンファレンスへの薬剤師の参加状況の把握と推進策の検討

- 1) 県内の薬剤師会員薬局及び病院に対して入退院時の薬剤情報提供の有無等を把握するためのアンケート調査の実施
- 2) 病院における退院時共同カンファレンスへの薬剤師の参加状況を把握するためのアンケート調査の実施
- 3) 上記アンケート調査結果をもとに、薬・薬連携会議を開催し、連携を進める上での課題ならびに推進策の協議

事業内容 2

病院薬剤師主導による退院時共同カンファレンスへの参加推進および外来患者に対するチェックシートを用いた薬剤師間で患者情報の共有の検討

- 1) モデル支部：神戸支部（中央区）、尼崎支部、芦屋支部、明石支部
対象病院の選定
- 2) モデル支部における退院時共同カンファレンスへの薬剤師の参加（計 8 回）
- 3) モデル支部での会議（計 8 回）
地域の実情に合わせて、ケアマネージャーなど多職種に意見を聴き進める。
- 4) チェックシートの作成

事業内容 3

患者の入退院時における、薬物療法・患者情報について施設間情報共有書の作成

- 1) 入退院時の「薬物療法・施設間情報共有書」の作成
- 2) 入退院時の「患者情報・施設間情報共有書」の作成
- 3) 県内全 18 支部への配布

事業内容 4

チーム医療を推進するための薬・薬連携における人材交流

病院薬剤師⇄薬局薬剤師（薬剤師の一定期間交換留学）

- 1) モデル支部：：神戸支部（中央区）、尼崎支部、芦屋支部、明石支部
対象病院の選定
県内の薬剤師研修薬剤師人数 16 名を目標（各支部：薬局 2 名、病院 2 名）
- 2) 病薬研修マニュアル及び、薬局研修マニュアルの作成（別紙）
- 3) 薬局薬剤師の病院研修の実施及び報告
（研修例）抗がん剤のミキシング、病棟薬剤指導への同行、退院時カンファレンスへの参加 など（研修期間の目安 4 日）
病院薬剤師の薬局研修の実施及び報告
（研修例）通常の調剤及び服薬指導、在宅訪問への同行、OTC 販売、サプリメントの販売など
（研修期間の目安 4 日）
研修期間：平成 30 年 10 月より